

令和3年度 亀齢荘事業報告

1. 運営の状況

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防そして対策に追われた一年でした。亀齢荘秋まつりや家族交流会、毎月開催の誕生会等、イベントの中止や規模を縮小しての実施となりました。厚生労働省が示した「新しい生活様式」を取入れ、全職員が一丸となりサービス提供に努め、またご家族にも面会制限等ご協力いただきながら感染症対策に努めました。結果的に、職員及び利用者から新型コロナウイルス感染者が発生し大変苦慮した時期がありましたが、その中でも保健所の指導を仰ぎながら感染拡大を最小限に抑え、継続し事業運営を行いました。収支に関しては感染者の長期入院や感染症対策のため一部受入制限を設けた時期もありましたが、役職員の皆様のご協力により、コロナ禍においても総体的に収益を確保することができました。

さて慢性的な人材不足が叫ばれている介護業界であります。今年度も年度を通し安定した多職種人材を確保し運営することができました。引き続き、職場環境の改善、職員間のコミュニケーション促進を図り、ご利用者に満足していただくサービス提供に努めてまいります。

一方、老朽化しつつある建物等の修繕費、職員の高齢化による人件費など必要経費が年々増加傾向にあります。行政の補助金制度の活用や職員一人ひとりの経費削減意識を図ると同時に、利用人数の安定的な確保、加算の算定維持など収益確保に取り組んでまいります。

最後に、令和3年度の介護報酬改定である「感染症や災害への対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取り組みの推進」の中長期を見据えた強化策を継続し、地域社会貢献を果たしつつ、現下の感染症の猛威に備え、更には自然災害対策を図り、安定した事業運営が出来るよう努めてまいります。

2. 各事業所の状況

(1) 特別養護老人ホーム亀齢荘

感染症発症が大きな要因となり、令和3年度の稼働率は対前年度4.0%減の88.8%でした。11月迄は前年度を上回る利用人数で推移しましたが、12月に入りヒトパラインフルエンザ集団感染により長期の入院者が出たこと、また2月に入り入所者の新型コロナウイルス陽性者が判明し、終息まで約1ヶ月を要したことが要因となりました。この期間、入所者・入院者の体調状況等を確認しながら同時に入退所の対応を実施しましたが、感染状況を鑑みながらのベッドコントロールに苦慮し空床期間が続きました。年度を挟み5月には満床予定であります。今後は入所待機者と密に連絡を取り合い、利用者には安心安全なサービス提供に努めてまいります。

① 入所者の入所状況

年 度	利用延人数	1日当り平均利用人数	稼働率 (%)
2年度	30,470人	83.5人	92.8
3年度	29,180人	79.9人	88.8

② 入所待機者の状況

待機場所	在宅	介護老人保健施設	病院	その他	合計
人 員	41人	8人	25人	17人	91人

R4.3.31現在

(2) 亀齢荘ショートステイ

感染症に細心の注意を払い上期は7割を超える稼働でサービスを提供出来ましたが、特養同様、ヒトパラインフルエンザ流行、新型コロナウイルス感染者発生に伴う利用制限を行ったことが原因で、利用人数は前年度とほぼ変わらない結果となりました。引き続き感染対策を講じ、安全で安心したサービス提供を実施するとともに、地域住民に信頼される事業運営を行い、ご利用者の増加に努めます。

年 度	利用延人数	1日当り平均利用人数	稼働率 (%)
2年度	2,134人	5.8人 (10床)	58.5
3年度	2,111人	5.8人 (10床)	58.5

(3) ケアハウス恕宥荘

一時空室となった時期がありましたが、新型コロナウイルス感染対策を講じながら入居に結び付け年度を通し満床に近い状態で推移しました。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染予防対策のため、入所者様には家族面会の一部制限や買い物ツアーの制限等、ご不便をおかけすることがありました。現在入居者の状況は高齢化が進んでおり、引き続きお一人おひとりのニーズに合わせてサポートしていくよう努めてまいります。

(入居者内訳)

年 度	地 域	人 数	地 域	人 数	合 計	性 別	人 数	性 別	人 数
2年度	いわき市内	16人	いわき市外	4人	20人	男性	11人	女性	9人
3年度	〃	17人	〃	2人	19人	〃	8人	〃	11人

(待機者内訳)

2年度	いわき市内	6人	いわき市外	0人
3年度	〃	10人	〃	0人

R4. 3. 31現在

(4) 亀齢荘デイサービスセンター

新型コロナウイルス感染対策として、利用者本人やご家族等の体調を確認し必要に応じ制限をかけながらのサービス提供となり、結果として年間利用人数が減少致しました。今年度は厚生労働省が示した「新しい生活様式」を取入れ、どのような状況でも継続できる事業展開を行い、地域に信頼される事業運営を目指します。また各居宅介護支援事業所との連携、情報共有を図り、利用者増につなげ一人ひとりのニーズに合ったサービス提供に努めてまいります。

年 度	類 型	年間利用人数	一日平均利用人数
2年度	標準型	6,057人	19.7人
3年度	標準型	5,603人	18.3人

(5) 亀齢荘ホームヘルプサービスセンター

新型コロナウイルス対策で利用制限した期間がありましたが、ケアマネ等協力のもと利用件数が増加しました。しかしながら入院や施設入所、更にはヘルパー職員の高齢化など山積する課題を抱えており、これら課題に対処しつつ満足いくサービスの提供に努めてまいります。

年 度	身体介護	生活援助	身体介護+生活援助	介護予防	合計 [単位: 件]
2年度	13,093 (11,144)	6,160 (2,533)	1,575	1,386	22,214 (13,677)
3年度	14,923 (12,731)	7,394 (3,306)	1,610	1,419	25,346 (16,037)

() は、徳風園特定施設入居者生活介護利用者

配食サービスについては利用者の入院や施設等へ入所が続き利用件数が減少しました。引き続き、他居宅介護支援事業所と連携を図り利用者確保に努め、地域に役立つサービスを実施します。

年 度	延べ配食件数	月配食件数
2年度	2,799	233
3年度	2,447	204

(6) 亀齢荘居宅介護支援事業所

介護相談窓口として、包括支援センターや医療機関、長年培った法人の人脈等から、新規利用者の獲得に繋がりました。年々ケース困難事例も増加していますが、関係機関と情報を共有し件数増加に努め、適切なケアマネジメントに資するよう努めてまいります。

年 度	ケアプラン月平均
2年度	106件 (予防23件含む)
3年度	117件 (予防23件含む)